

(塾名) ドテラ・月テラ (津島市) (運営主体) 豆ボラ神守<神守中学校地域学校協働本部>

(取組の概要)

1 背景・ねらい

ドテラ(土曜寺子屋)と月テラ(月曜寺子屋)はともに2011年よりスタートし、豆ボラ神守が主催・運営する学習支援活動。既に10年が経過して2015年度からは地域未来塾事業として活動している。元は、学校のニーズから始まった活動で、高校受験など進路への不安や悩み、学習への苦手意識や勉強の仕方などの分からなさに寄り添いながら、年齢が近く相談しやすい大学生や高校生や退職教員が支援することで始まったもの。不登校生徒が多かった時期に、教員以外の地域の人々から気軽に学べる校内にある学びの場であり、ホッとできる居場所として始まり、不登校気味だった生徒や外国籍の生徒、特別な指導を必要とする生徒も参加して、既に150名以上の生徒が卒業していった。



2 対象校・対象者

津島市内では、神守中学校と同様に、天王中学校でも地域学校協働本部「Goes 天」の名で土曜日学習会を校内で実施している。共に、在籍する中学生の希望者を対象に募集し運営している。(昨年度の報告書の記載を参照に)

3 実施教科

5教科 + 受験や勉強の悩みや相談 + 面接・作文指導(ドテラ)

4 実施場所

神守中学校内「ちいきの広場」または「図書室」で。

5 実施の形態

ドテラは、受験対策を中心とした学習支援で、中3生を対象。月テラは、学習習慣の定着と、テスト勉強の方法や学び方、不得意分野の克服など、分からないところを聞いたりして、学びの楽しさを目指している。

6 実施日・回数

月テラは、9月6日~3月14日までの17回で、午後3時~5時の2時間。ドテラ

実施時間帯

は、9月4日~3月12日までの25回で、午前9時30分~11時30分の2時間。

7 登録人数

月テラ32名(中1:14名、中2:14名、中3:4名)、ドテラ13名

8 参加人数(平均)

ほぼ毎回全員が参加している。

9 コーディネーター等の取組の様子

生徒の保護者との連絡情報ファイルの交換、大学生等の講師数確保のための連絡、学校との情報共有のための連絡、コロナ感染対策を含めた安全衛生管理の配慮や準備、運営スタッフ(協働活動支援員)と、運営や生徒への配慮事項に関する打ち合わせや情報共有など、毎週2時間の運営のために、細かな準備や配慮をしながら進めている。受けるもの授けるものが共に心地よい空間や人とのつながりがあったからこそ、10年間継続ができたと思われる。

(取組の結果・効果)

- 1 緊急事態宣言がいつ明けるか分からなく気を揉んでいたが、なるべく少しでも早くスタートして、学びを進めたいと思っていたところ、学校側も快くスタートに協力していただいた。「学びを止めない」を合言葉に、感染対策を万全にして、未来塾に関わるすべての人の安心安全を担保する取り組みに心がけている。
- 2 ドテラで学んだ生徒が大学生になり、やっと講師として来てくれる循環が5年目から少しずつ生まれ始めた。昨年度卒業した高校1年生も、これまでの感謝の気持ちを、ドテラの後輩のために教えにきてくれる姿があった。この時こそ一番運営する側が、何ものにかえがたい喜びを感じている。
- 3 令和2年度より市内の高校生がボランティア登録して、ドテラの講師として支援にきてくれるようになった。大学受験のAO入試や社会貢献活動経験の目的であったり、海外留学の語学経験を活かしたり、生徒には志望高校の生の情報も聞けるよい機会になっている。大学生の姿から教師を目指す生徒も出てきた。
- 4 生徒のほとんどが、コロナ禍による従来の日常生活ができない上に、学びの上での制限からくるストレスや将来への不安や悩みを抱えている。いつも悩みに寄り添い、大学生や高校生での経験や工夫を伝えながら、学びの意欲やモチベーションを上げる「心地よい関係の場」になっている。